

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名:	YPIJ-B(12P)
製品コード	9048B003
会社名:	株式会社 湯山製作所
住所:	〒561-0841 大阪府豊中市名神口1丁目4番30号
電話番号:	06-6868-5155
問い合わせ先:	同上
住所:	同上
電話番号:	同上
推奨用途及び使用上の制限:	インクジェットプリンタ用ブラックインク

2. 危険有害性の要約

GHS分類(※):

分類されない

※GHS 分類方式:

物理化学的危険性:国連 GHS 文書 Rev.3(2009 年版)

健康および環境有害性:JIS7252:2009(GHS に基づく化学物質等の分類方法)

GHSラベル要素:

絵表示又はシンボル: なし

注意喚起語: なし

危険有害性情報: なし

注意書き: なし

GHS 分類に該当しない他の危険有害性:

なし

安全データシート

3. 組成及び成分情報

単一製品又は混合物の区分: 混合物

成分:

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学特性 (分子式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS 番号
カーボンブラック	1-5	C	なし	1333-86-4
グリセリン	5-10	C ₃ H ₈ O ₃	(2)-242	56-81-5
尿素化合物	10-15	営業機密	営業機密	営業機密
1,2-ベンゾチアゾリン-3-オン	0.05 未満	C ₇ H ₅ NOS	9-1845	2634-33-5
水	60-80	H ₂ O	なし	7732-18-5

4. 応急措置

吸入した場合:

症状があれば、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の助言を得る

皮膚に付着した場合:

石鹼を使い、水でよく洗浄すること。

刺激が残る場合は、医師の助言を得ること。

目に入った場合:

ほどよく温かい、穏やかな流水で5分間洗浄すること。

刺激が残る場合は、医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合:

口をすすがせる。コップ1、2杯の水を飲ませる。

刺激や不快感が生じた場合は、直ちに医師の助言を得ること。

最も重要な徴候及び症状:

吸入: 通常の使用条件下での悪影響は予想されない。
ミストや蒸気に過度に暴露すると、頭痛や吐き気、めまい、嘔吐、
眠気、咳を起こす可能性がある。

経口: 吐き気や眠気、めまい、嘔吐、腹痛、頭痛、倦怠感、下痢を起こす可能性がある。

目: 軽度の刺激性があるかもしれない。

(セクション 11 参照)

皮膚: 刺激性および感作性は予想されない。

(セクション 11 参照)

慢性影響: データなし

発行日: 2015.03.12

改訂日:

安全データシート

5. 火災時の措置

消火剤:

二酸化炭素、水、泡消火剤、粉末消火剤

使ってはならない消火剤:

なし

特有の危険有害性:

なし

消火を行う者の保護:

消火作業の際には必要に応じ保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

眼や皮膚、衣服に付かないようにする。

取り扱い後は完全に洗浄する。

環境に対する注意事項:

下水や地表水、地下水へ流出させない。

除去方法:

濡れた布や紙で拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:**技術的対策:**

なし

局所排気・全体換気:

換気のよいところで取り扱うことが望ましい。

注意事項:

なし

安全取扱い注意事項:

適切な換気を行うこと。

眼や皮膚、衣服に付かないようにする。

もし付いた場合は、速やかに洗浄すること。

保管:**技術的対策:**

なし

保管条件:

日光を避け、涼しいところに保管。

子供の手の届かないところに置くこと。

容器包装材料:

適用外(本製品は他の容器、包装へ移し替えて保管することは意図されていない)

安全データシート

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策:

適切な換気を行うこと。

製品:	労働安全衛生法 管理濃度	日本産業衛生学会 許容濃度 (2012)	ACGIH (2013) TLV
インクジェットプリンタ用 インク	設定なし	設定なし	設定なし

成分:

カーボンブラック	管理濃度: 3.0 mg/m ³	第 2 種粉塵: 1 mg/m ³ (吸引性粉塵) 4 mg/m ³ (総粉塵)	設定なし
----------	-----------------------------	--	------

保護具:

呼吸器の保護具: 必要 不要目の保護具: 必要 不要皮膚及び身体の保護具: 必要 不要

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態・形状・色):	黒色液体
臭い:	微臭
pH:	7 - 9
融点・凝固点(°C):	データなし
沸点・初留点・沸騰範囲(°C):	データなし
分解温度(°C):	データなし
引火点(°C):	引火点なし(推定)
自然発火温度(°C):	データなし
燃焼性:	適用外
爆発範囲・爆発特性:	なし(推定)
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
比重(密度):	1.0 - 1.1
溶解性: 水溶性:	可溶
脂溶性:	データなし
n-オクタノール/水分配係数:	データなし
粘度(mPa・s):	1 - 5
その他のデータ:	なし

発行日: 2015.03.12

改訂日:

安全データシート

10. 安定性及び反応性

安定性: 安定 不安定

危険有害反応可能性: なし

避けるべき条件: なし

混触危険物質: 酸、塩基、酸化剤、還元剤

危険有害な分解生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物

11. 有害性情報

急性毒性:

吸入: データなし

経口: データなし

経皮: データなし

皮膚腐食性・刺激性:

(ラビット) Not irritant

OECD Guidelines No.404 (2002), Regulation (EC) No. 440/2008 Method B4

眼に対する重篤な損傷・刺激性:

(ラビット) Mild irritant

OECD Guidelines No.405 (2012), Regulation (EC) No. 440/2008 Method B5

呼吸器感作性又は皮膚感作性:

(マウス) Non-sensitizer

OECD Guidelines No. 429 (2010), Regulation (EC) No. 440/2008 Method B42

生殖細胞変異原性:

Ames 試験 (サルモネラ菌、大腸菌): 陰性

発がん性:

カーボンブラックの発がん性分類:

日本産業衛生学会 第2群B (人に対して恐らく発がん性があると考えられる物質。証拠が比較的十分でない物質)

国際がん研究機関(IARC) グループ2B (人に対して発がんの可能性のある物質)

国際がん研究機関(IARC) はカーボンブラックの発がん性について、人での証拠は不十分であるが、動物での十分な証拠があると評価し、グループ2Bに分類した。動物での十分な証拠とは、ラットに粉末カーボンブラックを慢性的に吸入暴露させた結果、肺の粒子過負荷を生じる量で暴露されたラットに肺腫瘍が生じたことに基づいている。ただし、通常の使用条件においては、粉末カーボンブラックの吸入暴露量は無視しうる量である。

生殖毒性:

データなし

特定標的臓器毒性—単回暴露:

データなし

特定標的臓器毒性—反復暴露:

データなし

吸引性呼吸器有害性:

データなし

その他:

なし

発行日: 2015.03.12

改訂日:

安全データシート

12. 環境影響情報

生態毒性:

データなし

残留性・分解性:

データなし

生体蓄積性:

データなし

土壤中の移動性:

データなし

他の有害影響:

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法:

国の法律や地方自治体の条例に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国連番号: 該当しない

国連輸送品名: 該当しない

国連分類: 該当しない

国連容器等級: 該当しない

海洋汚染物質

(IMDG コード):

該当しない

特別な注意: なし

15. 適用法令

労働安全衛生法:

名称等を表示すべき危険物及び有害物: 該当しない

名称等を通知すべき危険物及び有害物: カーボンブラック

(政令第18条の2別表第9の130)

化学物質排出把握管理促進法
(化管法):

第一種/第二種指定化学物質: 該当しない

毒物及び劇物取締法:

毒物及び劇物: 該当しない

消防法:

危険物及び指定可燃物: 該当しない

発行日: 2015.03.12

改訂日:

安全データシート

16. その他の情報

GHS分類の補足:

分類は下記を参考にした。

物理化学的危険性: 国連GHS文書 Rev.3(2009年版)

健康および環境有害性: JIS Z 7252:2009(GHSに基づく化学物質等の分類方法)

分類結果が「分類対象外」、「区分外」、「分類できない」の場合、「分類されない」と示した。

用語:

・推定: 類似製品または成分のデータに基づく推定

引用文献:

- ・労働安全衛生法 管理濃度
- ・日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- ・米国 産業衛生専門家会議(ACGIH), Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices
- ・世界保健機構(WHO) 国際がん研究機関(IARC), IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

略語:

- ・化審法: 化学物質の審査および製造等の規制に関する法律
- ・安衛法: 労働安全衛生法
- ・化学物質排出把握管理促進法(化管法): 特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律
- ・GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (化学品の分類および表示に関する世界調和システム)
- ・JIS: Japanese Industrial Standards(日本工業規格)
- ・ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists Threshold Limit Values(米国 産業衛生専門家会議 許容濃度値)
- ・IARC: International Agency for Research on Cancer(国際がん研究機関)
- ・IMDGコード: International Maritime Dangerous Goods Code(国際海上危険物質規則)

本安全データシート(SDS)は、作成時における最新の資料、情報、データに基づき作成したものであり、今後、新しい知見に基づき改訂する場合があります。

尚、SDS中の注意事項は、通常の使用条件において適用されるものです。特殊な取扱いをされる場合は、ご使用者の責任において安全対策を実施してください。

本SDSは、その記載内容を保証するものではありません。